

教科	技術・家庭科（家庭分野）	学年	第 1 学年	担当者	谷田 早紀
----	--------------	----	--------	-----	-------

【教科目標】

生活の営みに係る、見方考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的体験・体験的な活動を通して、より良い生活の実践に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成。

【使用教科書・教材等】

教科書 「新しい技術・家庭（家庭分野）」東京書籍
 技術・家庭科 総合ノート「家庭分野」明治図書

【学習計画】

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1 学 期	食生活と栄養 ・食事の役割を考えよう ・栄養素の種類と働きを知ろう ・食品に含まれる栄養素を知ろう ・何をどのくらい食べればよいか 考えよう ・バランスのとれた食生活を考えよう	○自分の食生活を振り返り、さまざまな視点から課題を見つけることができる。 ○健康と食事の関係について考え、自分の食生活を工夫できる。 ○食品の栄養素の種類とはたらきや一日に必要な栄養摂取量について理解する。 ○栄養バランスのとれた献立を考えることができる。 ○安全性や衛生に留意して調理作業に取り組むことができる。	教科書 ノート プリント ワーク エプロン 三角巾 マスク
2 学 期	・食品の選び方を考えよう 調理と食文化 ・日常食の調理をしよう	○生鮮食品と加工食品の特徴や種類を理解する・ ○食品についての知識を生かし、状況に応じた食品を選び、使用することができる。 ○食品の保存方法を知り、より保存性を高める加工法について理解する。 ○食品表示や食品添加物について理解する。 ○調理実習の手順を理解し、実習計画を立てることができる。 ○材料の性質を理解し、能率良く作業できる。 ○調理器具が正しく使用でき、衛生や環境に配慮した実習ができる。 ○調理実習で身に付けたことを実生活に生かす。	教科書 ノート プリント ワーク エプロン 三角巾 マスク
3 学 期	生活の課題と実践 ・日本の食文化を追求しよう 調理と食文化 ・地域の食文化を知ろう ・よりよい食生活を目指して	○食生活をよりよくするための課題の解決を目指して日常食や地域の食材を生かした調理などの計画を工夫している。 ○課題に関心を持ち、計画作りや実践に取り組もうとしている。 ○実践したことを工夫してまとめ、発表している。 ○地域の食材を生かした日常食等の調理を通して、地域の食文化に関心を持っている。 ○生活を取り巻く問題に関心を持ち、食生活をよりよくしようとしている。	教科書 ノート プリント ワーク

【評価の観点と評価の方法】（通知表のつけ方）

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	生活や技術について基礎的な理解をしているとともに、それらに係る知識・技能を身に付けている	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決を目指して評価・改善し、表現するなど適切に工夫・創造している	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し充実向上するために主体的に実践しようとしている
評価の方法	単元テスト ワークシート レポート	単元テスト ワークシート レポート	ワークシート レポート 単元テスト 振り返り

【授業の受け方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- ・教科書・ファイル・準備物を事前に準備して参加しましょう。忘れ物をせずに授業に集中できるようにしましょう。
- ・話を静かに聞く姿勢や、話し合い活動を大切に、集中して授業を受けましょう。
- ・プリントは丁寧に書きましょう。（黒板に書いてあることや人の発言や先生の説明をメモするなど書き方を工夫する）
- ・質問や考えたこと、疑問点を積極的に発表して、授業内容の理解を深めましょう。
- ・プリントやレポート・作品の提出期限を守り、丁寧に仕上げ提出しましょう。
- ・実習に根気よく、丁寧に取り組みましょう。（基本的な技能を身に付けて、工夫して作品が完成できるようにしましょう。）
- ・実習道具を正しく使い、安全に気をつけて、協力し合い取り組みましょう。
- ・ワークや教科書(両方とも3年間使用)を丁寧に扱い、無くさないようにしましょう。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- ① 自分の生活を見つめ直すことが必要です。
- ② どうしてそのようになっているのか、どうしてそうするのかを考えましょう。
- ③ 正解が1つじゃない時もあります。
- ④ クラスの仲間の意見を聞くことを大切にしましょう。
⇒いろいろな考え方があることに気付くことで、自分の考えを広げたり深めたりしよう